



特別栽培米
環境こだわり農産物

2021年 栽培日記

JA滋賀蒲生町



Vol.5 田植え編

〔撮影日：2021年5月1日〕5月になり、蒲生地域の田んぼではいよいよ田植え準備がはじまりました。GWが終わる頃には辺り一面の田んぼに水が張られ、カエルの鳴き声が響いています。代掻き・硬化苗渡しと同時進行で、5月中旬にかけて、田植え作業もピークを迎えます。



生産者の方々にお渡しする苗箱は、このようにトラックの棚に積み込まれ、引取場所まで運ばれます

硬化苗のお渡しが5月から始まりました。朝早くから生産者の方々に苗をお渡しします。田植え前には代掻きをします。代掻きとは、田起こし後に田んぼに水を張り、土を細かく砕いて田んぼの表面を平らにする作業です。代掻きをした田んぼには水が張られているので、蒲生地域の風景も一変します。

代掻きが終われば、いよいよ田植えが始まります。GW中はおおむね天候に恵まれ、順調に田植えができています。雨の日の田植え作業は、稲苗が傷んだり、田植え機の故障等の原因となるので、この時期の天気予報には十分に注意して作業しなければいけません！

また、蒲生地区にある各小学校では、食農教育の一環として毎年田植え教室が行われます。JA職員や地域のボランティアの方々が小学生に田植えの仕方を教え、実際に体験してもらっています。昨年の田植え教室は新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりましたが、今年はマスクをしながら、管内の3小学校全てで開催することができました。秋には稲刈り体験を予定しています。

子どもたちも自分達が植えた苗を収穫する時を楽しみにしている様子でした。

水田に発生する藻の対策について

近年、藻の発生による初期成育の阻害が多く見られます。藻は、5月田植え後の日射量が多く、光合成量が増加すること、また、水温の上昇等の条件が揃うと増殖する傾向になります。対策としては、発生初期に落水し、軽く干す。または間断かん水を行うことが有効です。



田植え機で田植え作業中・・・



田植え教室の様子



田植え後の田んぼの様子